



三事研広報 No.5

H24.1. 23 発行

三重県公立小中学校事務研究会

発行者 釜須 雅子

編集責任者 川北 剛



年が明け、厳しい寒さのなかにも清々しさが感じられるこのごろです。会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。お正月は箱根駅伝を見て盛り上がり感動しながらも、出場できなかった部員の思いや裏方をした方たちの苦労を考えたりしていました。風邪やインフルエンザ等で体調を崩しやすい時期ですが、体調管理をしっかりして仕事等に励みたいと思います。今年も三事研をよろしく願いいたします。いい年になりますように！

第3回研修講座

12月9日(金)三重県男女共同参画センターにおいて、第3回研修講座が行われました。会員の皆様のご協力をおもちまして、今年度最後の研修講座を有意義に終えることができました。お忙しい中たくさんの方にご参加いただきありがとうございます。

講座Ⅰ 人が輝き、地域が輝くプロジェクトー観光から感幸へー

講師 有限会社オズ・有限会社菊乃 代表取締役、旅館海月女将
江崎 貴久さん



講師の江崎さんは女将として旅館を切り盛りするとともに鳥羽の自然文化の魅力により多くの人に感じてもらおうと体験実習型の“エコツアー”を企画運営して成功してみえます。演題にある“観光から感幸へ”とは、お客の満足だけでなく、自然・住民・ガイド等、みんながそれぞれ前より少しでも幸せを感じることをめざしたバランス感覚を持っていることが大切であると言われました。

そのためにはルール作りが必要で、「その判断基準は愛です」とのこと。「一緒に仕事をしていくためにはチームワークが必要です。お互いの凸凹を補いあって個性を大切に、互いを必要とし必要とされる実感が心の循環を作りだす。人は、いい環境にいるといい人になる。自分を好きになれる」といわれた言葉がたいへん印象的でした。

講座Ⅱ 「教育活動活性化計画」

三事研 研究部

教育活動活性化計画とその具体的行動指針について、現段階での研究部の考えを報告しました。学校事務を遂行する上で事務職員が大切にしたい3つの柱(情報・財務・安全)に沿って、それぞれ具体的行動指針(案)の提案を行いました。今回は指針に沿った具体的な行動策例の提示はできませんでしたが、まずは一人ひとりが考えることから始めて、これまでやって来たとおり実践を積み重ねていくことが具体的行動策の一つひとつになると考えています。今回の提案を受けて、個人・共同実施グループ・市町・支部単位等での実践をお願いし、研修講座で交流を行なっていく中で、会員の皆さんとともに三重県のよさを生かせる教育活動活性化計画を練り上げていき、平成25年度には具体的行動指針の策定ができるように取り組んでいきたいと考えています。



講座Ⅲ① 県内各地域の取り組み 「台風12号による災害への対応について」

熊野市立新鹿小学校 和田富美子さん

今年の8月の終わりから9月にかけてきた台風12号が尾鷲・紀南地域に与えた様々な被害・対応について話されました。床上浸水した学校の事務職員さんの奮闘ぶりが語られ、設備備品について被害の証拠写真を残しておく必要性や、備品台帳に登録されていない備品については補助金の対象外になるなど、補助金申請のためのご苦労の話があり、今後万が一の時に覚えておきたい内容でした。防災マニュアルづくりとともにシュミレーションしておくことや訓練が大切であること、災害は明日また起きるかも知れないので常に心がけておいてほしいなど、思いがこもったお話でした。



講座Ⅲ② 県内各地域の取り組み 「各地域の実践発表」

桑名支部・鳥羽支部・伊賀支部



桑名支部は桑名市立長島中部小学校の加藤千種さん、桑名市立伊曾島小学校の瀬田芳さんより桑名郡市の共同実施協議会の実施状況や環境整備、病休新採の事務支援などの成果についての報告と、長島共同実施協議会については事務職員の配置されていない悠分校への支援や、学校集金会計事務マニュアルを校長先生方の協力を得て作成し、承認をもらい共同実施グループ内全校に発行されたことなどの成果が報告されました。

伊賀支部からは名張市立桔梗が丘南小学校の柚谷朋子さんから名張市の学校と共同実施についての状況が報告されました。さらに昨年度共同実施協議会において就学援助等の検討委員会が開催されたことをきっかけに今年度様々なことについて話し合う特別検討委員会が設置されたこと、名張市教育ビジョンの施策に事務職員としてこれからも関係機関と協働しながら、夢をはぐくみ心豊かでいきいきと輝く子どもの育成をしていきたいという発表がされました。



鳥羽支部からは志摩市立立神小学校の倉田具子さんから志摩市の共同実施の様子や連携により成果を上げた実践が報告されました。

共同実施協議会の財務担当者会で市教委と良好な関係を築き連携を充実させることで、予算要望の見直しや様式の変更がスムーズに行われたり、支出負担行為のグループリーダーの専決権が認められるなどの成果があり、今後も継続してより効果的な子どもたちの学びの支援につなげていきたいという報告がされました。



第43回 東海地区公立小中学校事務研究大会（掛川大会）

日時 平成 24年 2月10日(金) 10:00～

東海大会ホームページアドレスはこちら↓

場所 掛川市生涯学習センターホール（全体会・分科会）

<http://tokai43.main.jp>

徳育保健センター・掛川商工会議所・掛川グランドホテル（分科会）

※第4分科会会場(室名)の名称が変更になりました。(旧)ローズルーム→(新)シャングリラスイート
(会場の変更はありません)

三重県からは員弁支部の発表が行われます。(第3分科会)

「 共同実施 その先にめざすもの ～私たちの新たな役割を求めて～ 」